

平成 26 年度大阪府がん対策推進委員会（概要）

1 日 時：平成 27 年 3 月 27 日（金）午後 3 時～

2 場 所：ホテルプリムローズ大阪

3 議 事

(1) 会長の選出について

(2) 部会の活動状況について【資料 1】

(3) 第二期大阪府がん対策推進計画の取組み状況について【資料 2】

(4) その他【資料 3】

4 議事概要及び委員からの意見要旨

(1) 会長の選出について

⇒松浦委員を会長として選出

(2) 部会の活動状況について（資料 1）

【がん検診・診療部会】

○精密検査受診率が国の許容値を下回る市町村には府から通知文書を発出したとあるが、大腸がんは 14 市町村と多い。通知文書だけでなく他の方法もあるのではないかと思う。

【肝炎肝がん対策部会】

○将来的にはワクチン接種により感染が終息に向かうのではないか。

【がん診療拠点病院部会】

○大阪府の拠点病院では敷地内禁煙を義務化すべき。

○がん認定看護師など人材養成については、各病院に任せるだけでなく府としても支援に取り組むべき。

【緩和ケア推進部会】

○府でパンフレットを作ってくれたことはありがたいこと。病院に置くだけでなく、患者家族に手渡ししてほしい。

【患者支援検討部会】

○患者さんが相談支援センターに気軽に相談できるよう、相談支援センターと患者会が連携しお互いに歩み寄って助け合っていきたい。

○病院によっては患者支援センターがわかりにくい病院もあるので、看板を上げるなどわかりやすくなるよう改善してほしい。

【小児がん部会】

○長期に入院している高校生への講師派遣制度については、患者、病院関係者に対してさらなる周知をしてほしい。

【がん登録等部会】

○がん登録推進法が施行されるが、効果だけでなく、どんな項目が報告されるのかなど不安を与えないように周知をしてほしい。

(3) 第二期大阪府がん対策推進計画の取組み状況について（資料2）

⇒各部会にて審議された平成26年度の取組み状況及び平成27年度の取組みについて、承認を得た。

○肝炎肝がん対策については、ウイルス検診にかかる個別勧奨の市町村の強化、国補助事業である重症化予防事業（精密検査、低所得者への定期検査費用の助成）実施、肝疾患相談支援センターの周知（ホームページ、外来窓口での表示）、肝炎手帳の改訂をお願いしたい。

○肝炎手帳については、今夏以降に新薬が出る可能性が高いので、それ以降に発行を検討したいと考えている。

○在宅における緩和ケアを進めるには、在宅側の受入体制の強化を図るとともに、行政や関係者、患者会が協力して広報活動を実施していく必要がある。在宅緩和マップの取組みは徐々に広がっているが府全域に広げていくべき。

○がん対策基金事業で実施した患者会主催のシンポジウムのような取組みに対して、今後とも府のサポートをお願いしたい。

○訪問看護ステーション協会の研修会開催などの取組みも強化していきたい。

○在宅に移行しても患者家族が安心して必要なケアを受けることができるように、しっかりと連携体制のもとで、がん疼痛緩和や退院前カンファレンスの実施をお願いしたい。

○がんと宣告されたときに、患者が早まって仕事を辞めないよう、状況が良ければ治療しながら働けるということを医師から説明をお願いしたい。また、治療には費用もかかるという点も併せて説明をお願いしたい。

(4) その他（資料3）

【大阪がん患者団体協議会から活動報告】

○引き続き協議会の活動を強化していただくとともに、意見交換会などを通じて、関係者の連携を強化していきたい。

以上